

学童軟式野球大会要項（2019）

山形地区野球連盟

1. 出場資格

- (1) 全日本軟式野球連盟規程第6条第3項(2)に規定するクラブチームでなければならない。
ただし、スポーツ少年団との二重登録は認められる。
- (2) 会員登録は同規定第10条によるものとし、第6項(2)のとおり硬式ボールを使用している団体に登録又は大会に参加している選手は出場できない。(登録できない)
ただし団体の登録又は大会の参加を抹消した場合は登録することができる。

2. 試合方法

- (1) トーナメント方式として、全試合7回または1時間30分以内とする
(1時間30分を超えてたら次のイニングには入らない、但し時間計測は大会事務局に委ねる)
- (2) 得点差によるコールドゲームは、5回以降7点差とする。
- (3) 7回を終了、または1時間30分を経過して勝敗のつかない場合、1イニングに限り特別延長戦を行う。それでも勝敗がつかない場合は、最終選手9名による抽選により勝敗をつける。(競技者必携のタイブレーク方式)
- (4) 学童の部の投球制限を適用する。(投手の投球制限については、健康維持を考慮し1日7イニングまでとする。尚学童部3年生以下にあつては、1日5イニングまでとする。投球イニングに端数が生じたところは3分の1回(アウト1つ)未満でも1イニング投球したものとして数える。ただし特別延長戦の直全のイニングを投げ切った投手に限り、1日の最大8イニングまで投げることができる。

3. ベンチに入れる人数

- (1) ベンチに入れる人数は、監督1名、コーチ2名以内、選手10名以上20名以内及びチーム責任者(引率責任者)、マネージャー、スコアラー各1名とする。
監督、コーチ、チーム責任者は成人とする。
- (2) 背番号は監督30番、コーチ29番、28番、主将10番、選手は0番から99番。

4. オーダー交換

- (1) 各チーム球場到着時に本部に報告し所定のオーダー表を受取、第1試合は試合開始予定時間30分前、第2試合以降は前試合の4回終了時、監督及び主将立会いのもと、本部席で行う。
- (2) テーピング等の必要な選手も同行し審判員の確認を受けること。

5. その他

- (1) 試合中、打者、走者、次打者、ベースコーチは全軟連盟公認の耳つきヘルメット、捕手は、マスク、ヘルメット、プロテクター、レガース、フェールカップを着用すること。
- (2) ユニホーム、帽子、ストッキングについては、全員同色、同意匠のものでなければいけない。
(スパイクは除く、チーム責任者も同一帽子を着用すること)
- (3) 捕手のヘルメットはマスクと一体となっているものの使用禁止。また金属・ハイコンバットはJ S B B公認のものを使用すること。
- (4) 試合中監督に限りグラウンドにでて指示することが出来る。
- (5) 競技者必携(2017)の【競技運営に関する注意事項】【競技に関する連盟特別規則】【試合中の禁止事項】を厳守すること。
- (6) 試合のスピード化に努めること。
- (7) タイムの回数は7イニングに3度以内とする。(守備及び攻撃ともに)
- (8) 抗議権を有する者は監督、主将、当核プレーヤーのうち1名とする。
- (9) 地区予選会では開会式・開始式及びシートノックは行わないので注意すること。

★大会運営補助員のお願い

両チームからボールボーイ(2名で椅子を準備願います)の協力をお願い致します。
両チームの保護者の方にスコアボードをお願い致します。